

平成19年3月
第14号

自治連だより

発行 八千代市自治会連合会
代表者 中原美明
事務所 八千代市大和田新田312-5
八千代市役所生活安全課内
047(483)1151(代)

各地区で市政懇談会を開催

市長並びに市役所幹部を招いて懇談会を開催しました

平成18年10月22日の阿蘇地区を皮切りに、市内7地区で市政懇談会を実施しました。

また、今年度は連合会役員会との市政懇談会も実施しました。

市長・市役所幹部を招き日頃の疑問や要望を直接伝えるため、各地区の懇談会では活発な話し合いで賑わいました。

以下、各地区で出した質問の概要です。

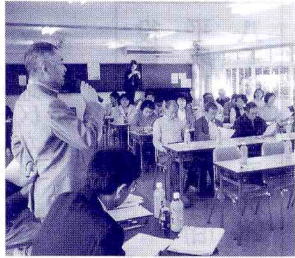
阿蘇地区

平成18年10月22日(日)

米本団地集会所

- 17年度のテーマのフィードバック
- 孤独死の抜本対策を考慮してほしい。自治会・社会福祉協議会の見守り活動も限界にきている。
- 阿蘇地区にも老人対策として、市営テナスコート・ゲートボール・グラウンドゴルフ場等健康増進につながる施設を考慮してほしい。
- 各種募金(日赤社資、花と緑、親子祭り、年末助け合い、赤い羽根、社福会費)は近年マンネリ化し

て、各自治会の作業負担も増加し、募金要請者も感謝の念が薄らぎ、集金マシンの無表情に受け取っている。この際、市側も自治会負担軽減を考慮し、募金要請者自身の街頭募金に切換えを進言すべきである。



阿蘇地区 市政懇談会

5. 防災・防犯・公園及び市道の清掃美化等に自治会の役割は年々増加しているのに、昨年は市補助金(市民組織補助金、防犯灯維持補助金、集会所管理補助金)の大幅カットが実施された。少なくともカット以前の状態に戻すべきである。
6. 自主防犯組織に対し、自主防災組織同様市補助金をつけるべきである。
7. 毎年市主催の9月1日の防災訓練もマ

シネリ化しているの

で、阿蘇地区で実際に災害発生を想定し、例えば避難先(小学校他)の連絡方法(体育館の鍵保管他)等をマニュアル化してほしい。

8. 空き缶回収(毎週金曜日)で、市回収前に盗っていく人が頻発している。条例で取り締まるべきである。

9. 八千代市職員の飲酒運転事故の際の規程はどうなっているか。

10. 市サポートセンターの移転(イトーヨーカ堂フルルからゆりのき台5丁目へ移転)で交通不便になるが、学校の空き教室等の活用は討論されたのか。

高津・緑が丘地区

平成18年10月22日(日)

緑が丘自治会館

- 市政
- 八千代医療センターの進捗状況およびアクセスの確保
- 歩行者禁煙条例の制定
- 大型高層建築物を制限する「地区計画」

八千代台地区

平成18年10月28日(土)

八千代台自治会館

- 現在タクシーの駐車プールとなつている京成八千代台駅前広場について、これを市民の憩いの場として転用できないか
- 高齢化率の高い八千代台地区における老幼公園や余裕教室の転用による高齢者の集いの場の設定
- 市長対話等で市長が発言した八千代台東小と東第二小の統合についての展望
- 八千代台駅東口への交番の設置
- 市の回覧物と自治会の回覧日との不整合性による混乱防止対策について
- 県道幕張・八千代線の歩道の未整備箇所の整備
- 市と自治会兼用の掲示板の設置
- 都市計画道路3-1-12号線について
- 4-12号線について
- 計画の進捗状況と現状及び完成目的の説明
- 計画道路が完成する際に当該地区住民生活に及ぼす影響について
- 今後関連住民または当該自治会との関係において、計画の周知徹底につ

いてどのように考えているか

村上地区

平成18年10月28日(土)

勝田台会館

- 東葉高速村上駅前交番の設置について
- カーブミラーの補修と再設置について
- 信号機の設置について
- 勝田台北口駅前の村上団地より駅に向かった信号機に右折表示の信号を設置願います。
- 日産サテオ村上から成田街道に抜ける新しい道の最初の十字路で交通事故が多発しており、子どもたちの通学路であり、早期の設置を願います。
- 大規模改修工事(バリアフリーを含む)に対する助成及び相談窓口の設置
- 住居表示案内板などの新・増設
- 八千代市避難案内板の設置
- 街区番号の新設
- 住居番号の新設
- 勝田台駅前周辺から7丁目公園付近に

至る生活環境の改善(不法駐輪・駐車、客引き、風紀の改善に資する諸施策の実施)

大和田地区

平成18年11月4日(土)

大和田新田下区公会堂

- 最近飲酒運転の増加により、全国で話題になっております。「八千代市における、公務員に対する対策はどのようなにされていますか」
- 環境問題
- 麦丸台の残土対策
- 野良猫が地域の住民に色々と被害を与えております。市としての取り組みをお考えをお聞かせ下さい
- テレビなどで報道されています「ごみ屋敷」に対する市の取り組みは
- マンション含む私有地からの資源ごみの「持ち去り」に対する市の対策は
- 今年度は異常気象の為に短時間降水量が異常になる事がありました。市内のU字溝からあふれ出る水で道路及び家屋に被害が出る場合がありま
- 市でのU字溝の点検、清掃の状況をご説明下さい
- 八千代総合医療センター
- 八千代市民優先枠(病院の紹介状無しで初診が受けられる等)を設けて

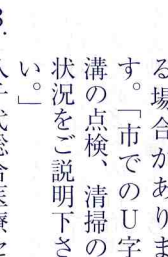
八千代台地区市政懇談会

勝田台地区市政懇談会

村上地区市政懇談会



村上地区市政懇談会



勝田台地区市政懇談会

5/24

19年度自治会連合会総会のお知らせ

平成19年度の自治会連合会及び防犯組合連合会の総会は5月24日(木)八千代市役所内の会議室で行う予定です。



大和田地区市政懇談会

陸地区
平成18年11月4日(土)
ふれあいむつみ

1. ふれあいむつみの建設（建坪、利用の用途）について
2. 陸スポーツ広場のトイレの問題（水洗トイレ、広場の中のベンチ）
3. 島田台交差点の件（横断歩道橋、通学路）
4. 高本地区区画整備事業（税金の件、事業着手の時期）
5. 通学路における民有地の草刈り及び枝下しの件
6. 木下街道歩道の整備計画について
7. 農協陸支店前から寺台までの区間
8. その他に計画があればどの区間か知りたい
9. 桑橋地先の信号機設置の進行状況
10. 島田台教職員住宅の改修計画があるのか
11. 花輪団地の改修計画があるのか
12. むつみ台団地の隣の団地の自治会作り及び加入について市からのアドバイスがあるのか
13. ゴミ袋（市指定）

睦地区市政懇談会

1. 大和田駅前交番の駅傍への移転時期は何時になりますか
2. 駐輪場の料金が完全室内と屋外（ガレージ下）と同じなのはおかしい。
3. 土日の鉄道駅前周辺の自転車放置対策
4. 新川大橋通りと市民会館横「八千代警察署入り口」交差点の大和田と萱田を結ぶ道路の改良



はまだ高いのではな
いか
10. 尾崎、島田と田の
基盤整備がなされた
が、今後市から指定
する所があるのか、
又は地区から要望が
あるのか

役員会

平成18年11月26日(日)
八千代市役所別館

1. 市民活動サポートセンターの一部貸出しをする場合について
2. 自治会加入率について
3. 補助金の復活について
4. 防犯灯について
5. 安全安心のまちづくり問題について（マンション建設に伴う大型車通行）

3. 補助金の復活について
市民組織補助金等が平成17年度から減額されたが、減額以前の補助金に戻して
ください。



役員会との市政懇談会

設工事で、大型車の
通行規制道路を通行
許可を取り大型車が
工事のため通行して
いるが、子供の学校
への通学路でもあり
危険なので通行許可
を与えないようにで
きなやか。

十八年度視察研修会（本所防災館）を実施

二月九日金早朝七時
三十分に貸切バスにて
市役所前から総勢五十
数名の参加により出発
した。今回は久しぶりの
「防犯連合会」との
共催による「自治連
と国会との親睦を図る
ことも目的とした「パ
と」との同館の設立目
的から、地震等の災害
の「防犯連合会」との
共催による「自治連
と国会との親睦を図る
ことも目的とした「パ
と」との同館の設立目
的から、地震等の災害



本所防災館



地震体験

東京女子医科大学八千代医療センターが
昨年12月8日に開院

健康福祉課

八千代市では、これ
まで入院医療や小児を
はじめとする救急医
療、高度医療などの多
くを市外の医療機関に
依存し、その割合が
年々高まっていたこと
から、それらに対応で
きる高機能な中核病院
の整備が課題となつて
いました。

その過程において
は、計画内容の変更等
もありましたが、昭和
56年に八千代市が中核
病院の建設を目指して
以来25年目にして、よ
うやく実現されたもの
です。

八千代医療センター
の開院当初は、万全な
医療を確保するため、
救急医療や小児医療、
周産期医療などを中心
とし、受け入れ病床数
を徐々に拡大する予定
であるものの、24時間
365日体制の救急
医療が提供され、急性
期病院の機能を發揮す
るための地域医療機
関との連携によって、早
くも八千代市の医療提
供体制に多くの効果を
もたらしています。



東京女子医科大学 八千代医療センター

編集後記

今年には関東大震災か
ら84年が経ち、周期説
的には何時大地震が発
生しても、おかしくな
い時期にきています。
このため多くの自治体
が大地震に備え、考え
られる想定で、対応訓
練を行っている。

自治連だより第14号
の発行にあたって編集
会議を開催した。今回
は昨年10月に行った市
政懇談会を主に掲載す
ることとしたので、会
員が読むだけで内容が
理解できるように記事
にすべきた等々の意見
があり、口角泡を飛ば
す程の熱気の籠った編
集会議になったが、紙
面の都合で前回並みと
なった。しかし、生の
本意を伝えたいと云う
ことは委員共通の認識
であった。活かされる
日は来るだろう。
『編集委員 荒井』